AndroidMuPlayer マニュアル

● 概要

AndroidMuPlayer は私が PC 用に作っていた音楽ファイル再生ソフトである MuPlayer の Android 版です。

MuPlayer は音楽ファイルの管理にファイル名を直接使うことをコンセプトに作成したプレイヤーでした。

プレイリストの管理は複数のファイルの取りまとめで行い、D&D(ドラッグ&ドロップ)でプレイリストの作成やファイル再生を行うため explorer からの再生やプレイリスト作成が簡単に行え、PC に慣れた人にはファイル管理で音楽ファイルの管理を行えるため PC での楽曲管理では行えない細かな操作が可能になっていました。

PC版 MuPlayer は Adobe AIR というプラットフォームを使い作成されており、再生可能なファイルは wav(44.1kHz)と mp3 だけとなっており、また Adobe AIR の無広告版が現在メンテナンス停止となっている状況で配布が困難となっています(個人使用は Adobe AIR,開発環境とも保存しているため可能で、アップデートして現在も使用しています)。

そのため最新のプラットフォームへの移植を検討していました。

基本的には簡便に使えるようにタブレットで動作するのがいいと思い、私の持っている環境が Android ということもあり Android で開発することにしました。

Android では基本アプリは画面専有でタッチパネルによる操作となりますので D&D での操作ではなくメニュー操作になりましたがファイルを直接扱う仕様は踏襲 しました。

わかりやすさよりできることの多さを優先しています。

 $SMB(v1 \sim v2.1)$ を扱えるため SMB のファイルが直接再生可能となり、また Android 端末によりますが、ハイレゾファイルの再生も可能となりました。

また、再生ファイルも大幅に増え動画ファイルも音楽ファイルと同様に扱え音だけ 再生することも可能となっています。

(※) ハイレゾファイル、動画ファイルの再生対応は Android の環境やプレイヤー (ExoPlayer, Media Player)により異なります。

● 動作環境 Android 8.0 以降

プレイヤー画面



プレイヤー画面は起動すると初めに開く画面です。

登録された再生ファイルを順番に再生します。

再生ファイルの登録はプレイリストまたはファイルリストより行います。 ブルーツゥースヘッドセットなどを接続した場合ヘッドセット側の再生、停止、戻る、 次ボタンでの操作が可能です。

- ① 停止ボタン 再生を一時停止します。
- ② 再生ボタン 再生または一時停止から再開します。

③ プレイリスト 登録したプレイリストを選択またはプレイリストを作成します。

④ ファイルリスト

ファイルからプレイ画面に登録したりプレイリストを作成します。 再生できるファイル種類は ExoPlayer,MediaPlayer で違います。 MediaPlayer は使う Android 端末により対応ファイルが違います。 対応ストリームはcontent(通常ファイルパス含む Android ローカルファイル、USB接続機器ファイル),SMB(サンバサーバー(NAS) ID:パス),httpURL(.mp3,.wav 等を直接指定。動画ストリームには対応していません)です。

⑤ 設定

設定画面を開きます

⑥ 登録ファイル消去 プレイヤー画面に登録されているファイルをすべて消去します。

⑦ 前再生1つ前のファイルを再生します。

⑧ 次再生 次のファイルを再生します

次のファイルを再生します。 ⑨ スリープタイマー

> チェックをつけるとスリープタイマーが起動し指定時間後再生が停止されます。は ずすとタイマーは解除されリセットされます。

⑩ 直接登録 直接登録するファイルを入力します。

① シークバー

再生位置を棒で示します。タップするとシークできます。左に現在再生位置、右に 終了位置を表示します。

① ファイル登録リスト

登録されたファイルリストが表示されます。タップするとそのファイルが再生されます。ロングタップするとメニューが開きファイルの削除などが行なえます。

● ファイルリスト画面



ファイルリスト画面はローカル及び登録した SMB ファイルが表示されここから再生ファイルの登録、プレイリストの登録を行います。

① ファイルルートリスト

ファイルルートが表示されます。タップするとディレクトリの下層が表示されます。 ショートカット登録したディレクトリは左に★マークがついて表示され、ロングタ ップでメニューが開き削除など可能です。

② その他ファイル

リストに出ていないファイル(USB 接続された外部ディスクなど)はここをタップ することでアクセスすることができます。

パーミッションを与えるためアクセスするディレクトリをまず選択します、それか

ら個別ファイルにアクセスできます。

ファイル・ディレクトリ画面



ファイルディレクトリを選択するとディレクトリの中身が表示されます。

 再生 プレイヤー画面の再生を行います

② 前再生 プレイヤー画面の再生を1つ戻します

③ 次再生プレイヤー画面の次を再生します

④ ショートカット登録現在のディレクトリをショートカットとして登録します。

⑤ ホーム ディレクトリのルート一覧に戻ります。

⑥ ファイル選択終了 ファイル選択を終了します。

- ⑦ ディレクトリ階層ディレクトリ階層が表示されタップするとその階層に移動できます。
- ⑧ 検索文字

検索文字を入力します。正規表現で入力します(特殊記号以外はそのまま入力すれば検索できます)。

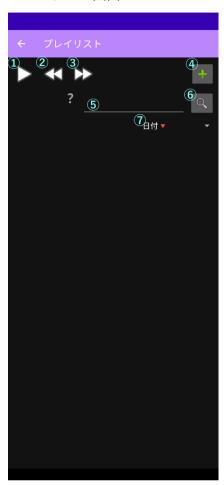
検索はプレイリスト名、プレイリストファイル名、コメントに対して行われます。

- ⑨ 検索実行 検索文字で検索を実行します。
- ⑩ ソート日付降順、昇順、ファイル名降順、昇順でソートします。
- ① ファイル、ディレクトリリスト

ディレクトリは左にディレクトリアイコンが表示されタップすることで下層を表示します。ファイルはタップするとメニューが開き再生、プレイリスト登録などができます。再生などはプレイヤー画面に対して操作が行われます。再生するとプレイヤー画面の現在の再生リストが消去され指定ファイルが登録されて再生されます。追加再生するとプレイヤー画面の再生リストの最後にファイルが追加されます。ディレクトリはロングタップするとメニューが出て各種操作が行なえます。"新規プレイリスト追加"を選択するとディレクトリ以下のファイルを新規プレイリストとして登録していきます。

ディレクトリ A / ディレクトリ B / file.wav とあった場合、file.wav はプレイリスト名 B コメント A として登録されます。 ディレクトリは更に見つかれば再帰的に登録します。 すでに同じプレイリストがあった場合は登録しません。

プレイリスト画面



プレイリスト画面ではプレイリストの再生、登録などの操作を行います。 プレイリスト、コメントの順で表示されます。 プレイリストはタップすると再生などのメニューが表示されます。 プレイリストは再生すると日付が更新され上に表示されるようになります。

- 再生 プレイ画面の再生を行います
- ② 前再生 プレイ画面の前ファイルの再生を行います。
- ③ 次再生 プレイ画面の次ファイルの再生を行います。
- ④ 新規プレイリスト追加 新規のプレイリストの追加を行います。
- ⑤ 検索文字列

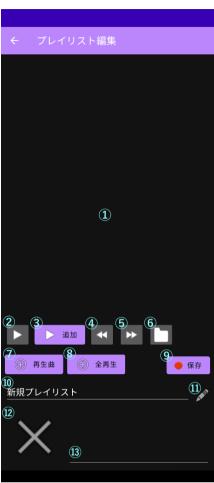
検索文字列(正規表現)を入力します。

⑥ 検索 検索を実行します。

⑦ ソート

日付降順、昇順、プレイリスト名昇順、降順、コメント+プレイリスト名昇順、降順でソートを行います。

● プレイリスト編集画面

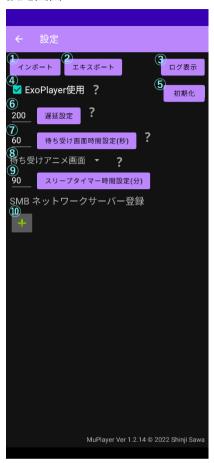


プレイリスト編集画面はプレイリストの詳細を編集します。

- プレイファイルリスト
 プレイリストのファイルリストが表示されます。
 ファイルをタップすると再生などのメニューが表示されます。
- ② プレイ画面で再生 編集中プレイリストをプレイ画面で再生します。
- ③ プレイ画面追加再生 編集中プレイリストをプレイ画面で追加再生します。
- ④ プレイ画面前再生 プレイ画面で前ファイルを再生します。
- ⑤ プレイ画面次再生 プレイ画面で次ファイルを再生します。
- ⑥ ファイルファイルリストを開きます。選択したファイルをプレイリストに追加します。

- ⑦ プレイ画面再生ファイルをプレイリストに追加 プレイ画面で再生中のファイルをプレイリストに追加します。
- ⑧ プレイ画面再生リストプレイリスト追加 プレイ画面で再生中のファイルリストをプレイリストに追加します。
- ⑨ 保存 編集したプレイリストを保存します。
- ⑩ プレイリスト名プレイリスト名を記載します。
- ① プレイリスト直生追加 直に入力した内容をプレイリストに追加します。
- ② プレイリスト画像 プレイリストの画像が表示されます。タップするとファイルリストに移動し画像を 選択するとプレイリストの画像として選択されます。
- ③ プレイリスト説明 プレイリストの説明を記載します。

● 設定画面



設定画面は各種設定を行います。

① インポート

現在の設定、プレイリスト、再生リストのインポートを行います。 インポートを行うディレクトリを指定する画面が開くのでインポートファイルが おいてあるディレクトリを指定して画面に従ってください。

② エクスポート

現在の設定、プレイリスト、再生リストのエクスポートを行います。 インポートを行うディレクトリを指定する画面が開くので指定して画面に従って ください。

- ③ ログ表示 ログを表示します。長押しで前回起動時のログを表示します。
- ④ ExoPlayer 使用 再生エンジンとして Android 組み込みの MediaPlayer Google が提供している 外部ライブラリである ExoPlayer が指定できます。

チェックすると ExoPlayer が指定されます。

MediaPlayer を指定する場合使用する Android で DSF などのファイルが対応できていれば再生できます。使っている Android 端末で使用可能なファイルが再生できます。ExoPlayer では再生できるフォーマットは ExoPlayer 指定のファイルだけになります。96kHz などのハイレゾファイルは MediaPlayer, ExoPlayer ともに再生可能と確認していますが(Android10,11,12 で確認)USB で DAC と接続している場合再生周波数が切り替わるかは機種によります。再生周波数が切り替わらない場合でも ExoPlayer, MediaPlayer のどちらかで切り替わる場合がありますので色々試してみてください。

動画ファイルはともに再生可能です。

画像は出ず音だけ再生されます。

⑤ 初期化

設定その他初期化します。

⑥ 遅延設定

MediaPlayer の場合ファイル間で再生周波数が違うファルがあった場合 DAC の 周波数が切り替わらない場合があります。その場合ファイル間で遅延を入れると切り替わります。その遅延時間を指定します。

⑦ 待ち受け画面時間設定

待ち受け画面をアプリの待ち受け画面にする場合その起動時間を秒で指定します。 有機 EL の画面の場合同じ画面を長時間表示すると画面ヤケが発生します。画素 1 つ1つが LED のため光っている LED のみ劣化していくためどうしても画面ヤケ が発生します。画面ヤケを防ぐためできるだけ短時間で画面を消すことをお勧めし ます。液晶画面ではこのような処理は必要ありません。

待ち受け画面時間はプレイ画面のみでその他の画面はすぐに画面が消えないよう に画面が消えるまでの時間は固定となっています。

アプリの待ち受け画面が表示されている状態で再生がなく暫く経つと OS のスリープが有効になり、OS のスリープ画面に移行します。

⑧ 待ち受け画面設定

待ち受け黒画面、待受アニメ画面を指定すると待ち受け画面時間設定で指定した時間が経過すると待ち受け画面に移行します。待受アニメ画面は待ち受け画面がわかるように暗い文字でアニメーションが表示されます。OS 通常スリープを指定すると OS のスリープ設定に従います。

- ③ スリープタイマー時間スリープタイマーの時間を分で指定します。
- ⑩ SMB ネットワーク・サーバー登録 SMB の登録を行います。ID としてアルファベットと数字の文字を指定できます。

これは Windows のネットワークドライブ文字(a,c 等)と同等のものになり、アプリで扱う SMB ファイルも同じ表記となります。

ボタンをタッチするとデフォルトで新規に登録された項目が出ますのでタップし て編集してください。

● SMB 設定



SMB サーバーの情報を登録します。

① ID

サーバーの個別 ID を指定します。"y","d" などの 1 文字を指定すると SMB のファイルは "y:/public/pcm/foo.wav" などのように Windows と同じ表記になります。ファイル名の区切りは "/" でも "\mathbf{Y}" でもどちらでもかまいません。SMB ファイル名は ID + ":" + パス となります。

② HOST

ホスト IP もしくはホスト名を指定します。IP で指定すると速度が上がります。

- ③ ユーザー名 ログインユーザー名を指定します。
- ④ パスワード ログインパスワードを指定します。
- ⑤ パス ルートに表示されるパスを指定します。
- 6 削除

SMB 登録を削除します。

- ⑦ 接続確認接続をテストします。
- ⑧ キャンセル キャンセルします。
- ⑨ 設定 設定した内容で登録します。

● 変更履歴

V1.0

新規作成

V1.1

誤字修正。前回のログ出力表示対応。

V1.2

プレイリストコメント表示、コメント+プレイリスト名ソート対応。

V1.4

説明修正